

2 地方創生の推進

(2) 地方の産業競争力の強化 ③ サイクルツーリズムの推進

国への提案事項

世界に誇るサイクリング環境を創出し、サイクルツーリズムの推進による観光振興や沿線地域の活性化に向け、

- (1) しまなみ海道サイクリングロードのナショナルサイクルルートへの指定及び国内外への戦略的なPR
- (2) サイクリング環境整備のためのハード・ソフト対策に係る財政措置等

国際サイクリング大会による
サイクルツーリズムの推進



7,215人が疾走
海外26の国、地域から
701人が参加

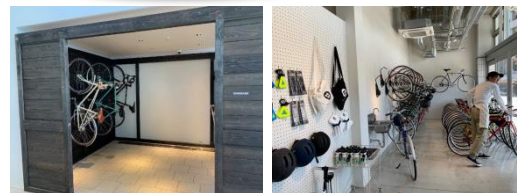
サイクリングしまなみ2018(H30.10.28)

写真：(c)サイクリングしまなみ2018実行委員会



JR尾道駅新駅舎オープン(H31.3.10)

新尾道駅オープンで
サイクリング環境の魅力が向上



駅内の宿泊施設とレンタサイクル貸出店舗



サイクルトレイン「ラ・マル・しまなみ」の運行
(岡山～尾道)



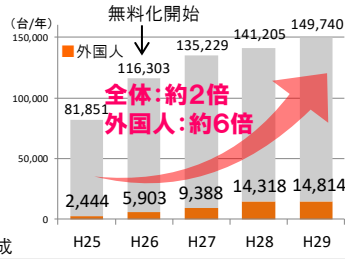
手ぶら当日便サービス

【提案先省庁：財務省、国土交通省】

現状

- 国では自転車活用推進法による自転車を活用した施策を推進。広島県版はH31年3月策定
- 令和2年の訪日外国人観光客4,000万人を目標とする中、増加する訪日外国人観光客はゴールデンルートに集中
- ニューヨークタイムズで「2019年に行くべきデネティーション(52エリア)」で「瀬戸内の島々(Setouchi Islands)」が日本で唯一第7位に選出
- しまなみ海道サイクリングロード等では、サイクルツーリズムによる観光地域づくりを推進。官民一体でサイクリストの利便性向上に取り組み国内外からのサイクリング客が着実に増加

外国人へのレンタサイクル貸出台数(しまなみ海道)



2 地方創生の推進

- (2) 地方の産業競争力の強化
- (3) サイクルツーリズムの推進

広域的サイクリングロードの形成



課題

- ゴールデンルートに集中するインバウンド効果の地方への拡大
- サイクルツーリズムを推進し、世界に誇るサイクリング環境を創出するため、ハード・ソフト両面での受け入れ環境の整備が必要

【官民一体で取り組んでいきたい内容】

- 広域的サイクリングロードの形成による広域観光周遊の促進
- 国際サイクリング大会の開催等を通じたサイクルツーリズムの国内外への情報発信
- 自転車専用レーン等の設置等、安全で快適な走行環境の確保
- ピクトサインの統一などわかりやすいルート案内
- サイクリスト向け休憩施設の充実やスポーツ型電動アシスト自転車(e-bike)の普及等による安心で快適なサイクリング環境の提供
- アクセシビリティ向上のための、サイクルバス、サイクルトレイン、サイクルシップの充実及びUPR

海外サイクリスト向けサイトによる国外への情報発信



海外サイクリスト向けサイト「Hiroshima Cycling」によりしまなみ海道・尾道でのサイクリングの魅力を世界に発信

サイクリスト向け休憩施設の充実



ひろしまサイクルおもてなしスポット制度



アクセシビリティの向上



H30.10.28 就航

サイクルシップ・ラズリ(尾道～瀬戸田)